



# みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和6年1月12日No.46

文:岡本勇人



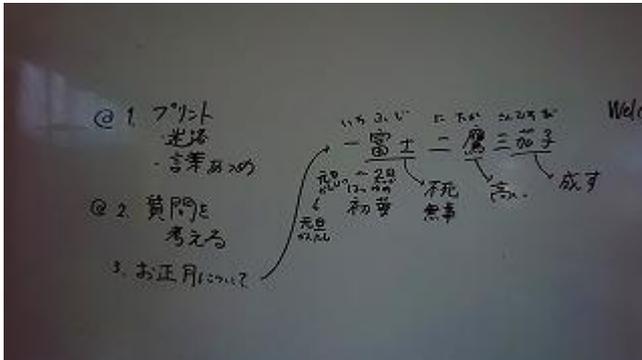
## 三朝町立三朝中学校 学校だより

まずは、新年早々に起こった令和6年能登半島地震および羽田空港での航空機事故で犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されたみなさま、事故に遭われたみなさまへ心からお見舞い申し上げます。

また、現在も全力を挙げて救助活動に携わっているみなさまには、ただただ頭が下がるばかりです。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「初夢」

### ◆江戸時代のことわざ…



新しい年を迎え、最初に眠った日の夜に見た夢をさす"初夢"。そんな初夢で見ると縁起がいいものとして「一富士、二鷹、三茄子」がよく知られています。(授業で活用したことを聴きましたが、中学生がよく知っている"ことわざ"かどうか…)

「富士」は日本一の山、「鷹」は威厳のある百鳥の王、「茄子」は"生す・成す"で物事の生成発展するさまを言い表わしているとのこと。また別の解釈に、徳川将軍家とゆかりの駿河の国(=静岡県)と関係づけるものがあるようです。(富士はいわずもがな、鷹は富士のすそ野の鷹狩り、茄子は初茄子…)(諸説あり)

実はこの縁起物には続きがあることを今回知りました。「四扇(しおうぎ)」「五煙草(ごたばこ)」「六座頭(ろくざとう)」とされています。(出典:JTのHP)

意味については、興味があればお調べください。意味が分かれば、"雑学"として活用できます。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「緊張」

### ◆人前での緊張は「敵」ではなく「味方」…

(カメラをとおしてですが)シン・執行部が「人前で話す(全校朝会にて)」という場面です。"緊張する～

(した～)"と聴くことがあります。しかし、「緊張」は「当然するもの」であり、むしろ「味方」だと考えて欲しいです。アスリートにとって「緊張」は、パフォーマンスを高めるうえで欠かせない要素と言われています。「緊張感」により選手の能力が引き出され、最高のパフォーマンスが発揮されることで、新記録がでることがあります。「緊張してはいけない」と気負うのではなく、「緊張をコントロールして味方につける」ことを目指していきましょう。場数を踏むことでより良い緊張感が生まれることでしょう。



今年の干支は"辰・龍"です。辰年は、活力にあふれ、様々なものが大きく成長し、形がととのう年だといわれています。また、"竜・龍"は十二支の中で唯一空想上の生き物であり、中国では出世や権力の象徴であることから、縁起がよく、力がつき、盛えることに大きく関わると言われています。

「登竜門」と言う「竜」のつく言葉があります。「登竜門」は、"通過することは難しいが、そこを突破すれば出世や成功につながる"という意味(諸説あり)があります。特に3年生は、この"門"を全力で突破して自分の夢に近づいてほしいと願っています。

保護者・ご家族のみなさま、3学期もよろしく願います。

始業式では、「"気持ちを緩める。ただし、緩め過ぎない"。寒さが厳しくなると、どうしても肩に力が入り、体が硬くなってしまいます。それに伴って、気持ちが固くなりがちです。だからこそ、自分の気持ちを緩める(緩め過ぎない)という視点をもってみてはどうでしょうか。」と話しました。

今年も、一緒に頑張りましょう。